

平成 28 年度の研修は、「栄養ケアプロセスの概要とそのポイント」をテーマに行われました。

日時：平成 28 年 8 月 21 日（日）13 時 45 分～16 時 45 分

会場：新潟医療福祉大学

参加者：125 名

基調講演：「栄養ケアプロセスの概要とそのポイント」

公益社団法人日本栄養士会名誉会長、神奈川県立保健福祉大学学長
中村丁次先生

グループディスカッションならびに講評：「栄養ケアプロセスを栄養士・管理栄養士の固有業務とするために、解決すべきことは何か」について、職域に分かれ検討を行った。その後、発表を行い、中村丁次先生より講評をいただいた。

「栄養ケアプロセスの概要とそのポイント」というテーマで神奈川県立保健福祉大学学長の中村丁次先生からご講演いただきました。現代の栄養指導における問題点を挙げ、なぜ栄養診断が必要かについて、わかりやすく解説下さいました。栄養指導の際、1 人の患者に対して、10 人の管理栄養士がいたら、10 人が全く別々の問題点を挙げるだろう・・・そのようなことでは、患者が何をすればよいか到底理解できない。そのためには、誰が見ても一目瞭然に患者の状態・問題点が分かり、かつ改善点を検討しやすい標準的な方法を、栄養士全体で統一していくべきである。そのような講演の内容でした。

講演後には、職域に分かれグループを作り、「栄養ケアプロセスを栄養士・管理栄養士の固有業務とするために、解決すべきことは何か」というテーマでディスカッションを行いました。活発なディスカッションが行われ、その内容を医療・福祉・公衆衛生・学校健康教育・教育研究事業部グループから発表いただきました。発表では、「他職種への働きかけ・理解」、「同じ職場の栄養士の理解」、「スキルを身に付ける」、「まずチャレンジしてみる」、等の意見があがりました。中村丁次先生の講評では、知識・スキルを学びたいという言葉があるが、そのためには、「小グループで勉強会を行うことが大事」や、「大きな夢をもつこと」など、貴重なかつ具体的なアドバイスをいただくことができました。

今後、栄養ケアプロセスを栄養士・管理栄養士の固有業務としていくためにも、課題解決にむけて自ら行動を起こす大切さをあらためて実感する有意義な研修会でした。

（文責：星野芙美）